

会議録

1. 附属機関の名称

犬山市健康まちづくり推進委員会

2. 開催日時

令和6年3月26日（火）午後2時から午後3時30分まで

3. 開催場

犬山市役所 501・502委員会室

4. 出席者

（1）委員

渡辺俊介、宮田昭男、近藤高明、榊原吉峰、宮崎貢一、竹腰篤、杉浦隆、江畑容子、
紀藤秀夫、田口庸子、小林光子、澤野光子、奥村好樹、勝又美樹、岡村千里、光浦毅

（2）事務局

健康福祉部長 高木衛

健康推進課（西村岳之課長、野村潤子課長補佐、武内道広課長補佐、河村佐久良統括主
査、古田裕三統括主査、立松武大主任主査、中根久美主任主査、川添友貴香主事）

5. 議題

（協議事項）

「みんなで進めるいぬやま健康プラン21」の評価・策定について

（報告事項）

①フレイル予防・対策について

②犬山市健康づくり推進事業所表彰について

（その他）

①第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21計画（令和6年度）策定スケジュール
（案）について

②市民健康館さら・さくらの湯の現状について

6. 傍聴人の数

0人

7. 内容

課長	<p>本日は、令和5年度第2回犬山市健康まちづくり推進委員会の開催にあたり、ご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>私は、健康推進課長の西村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>でははじめに、原市長より委員の皆さまへごあいさつさせていただきます。</p>
市長	<p>皆さま、改めましてこんにちは。</p> <p>足下の悪い中お越しいただき、心から感謝申し上げます。また、渡辺会長、宮田副会長にはこの会議をいつもリードしていただきまして、心から感謝申し上げます。思い返しますと、このアンケート調査を実施するためにどんな内容がよいのか、皆さんにいろいろとご相談させていただきました。たくさんのご意見をいただきました。その中で、子どもたち、15歳以上の皆さんに対して実施した、アンケート調査の結果を今日皆さんにお示しさせていただきたいと思っています。第3次みんなが進めるいぬやま健康プラン21策定に向けて、ここからスタートさせていただきます。さまざまなご意見を頂戴したいと思っています。</p> <p>私も市長に就任させていただいて、まさに人生100歳時代だと思えることが多くあります。100歳以上の皆さんのところに表敬訪問をさせていただくことができますが、7万2,000人の人口に対して、犬山に100歳以上の方が53人おみえになります。また、犬山は75歳になられる方に75歳の集いというお祝いの会を実施します。75歳の方は、昨年度は1,260人だったと思います。1,200人を超える方が75歳を迎えられますし、犬山の事業としては、金婚、ダイヤモンド婚のお祝いもさせていただきます。結婚から60年目のダイヤモンド婚、夫婦でお元気な方は33組おみえになりますし、金婚を迎えられる50年目のご夫婦は120組ほどだったと思います。それだけ、犬山の皆さんが元気でいていただくのは、本当にうれしく思っていますし、数値がそれを示しています。</p> <p>少しご紹介すると、犬山市の高齢化率は29%です。それに対して、愛知県の高齢化率は25%でありますので、4ポイントの差があります。一方で、介護認定率は犬山の方が愛知県よりも1ポイントほど低い状況であります。つまり、元気な高齢者がいっぱいおみえになるということであり、ここからさらに犬山市民の皆さんが元気でいていただくための、健康寿命をどう伸ばしていくか、どんな事業を展開していくかを考えていくのが、私たち犬山市に課せられたこれからの事業展開だと思っています。まさに、全国どこにでもある事業展開ではなく、犬山らしい、犬山の個性があるさまざまな今後の展開を皆さま方にご相談させていただきながら、皆さんが元気でいていただけるためのプランをともに創りあげていきたいと思っています。</p> <p>プロの専門家の皆さまばかりであります。常に、市民の皆さんの状況をよくご存じの方ばかりであります。どうぞ的確にご指導を賜りながら、皆さんの思いを形にしていきたいと思っています。心から日頃の活動に感謝を申し上げつつ、ご指導賜りますよう、改めてお願い申し上げます。冒頭のあいさつに代えさせていただきます。どうぞよろし</p>

<p>課長</p>	<p>くお願い申し上げます。</p> <p>続きまして、会議録の公表について申し上げます。</p> <p>この「健康まちづくり推進委員会」は附属機関の会議でありまして、「犬山市附属機関の会議の公開に関する要綱第5条第3項」により会議録等を公表することとなっております。</p> <p>そのため、同要綱第5条第2項により会議録に署名が必要となります。この後、会長から2名の委員を指名させていただきますので、指名された委員は後日ご協力をお願いいたします。</p> <p>議事に入ります前に、ここで本日の出席者につきまして、ご報告申し上げます。</p> <p>本日ご都合により、1号の増井委員、3号委員の布目委員、4号委員の山口委員よりご欠席との連絡をいただいております。</p> <p>委員19名のうち【16】名の委員にご出席いただいておりますので、当委員会の規則第4条第3項の規定に基づき、本日の委員会は成立となります。</p> <p>続いて、配付資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日の会議資料は、事前に郵送させていただきますが、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「本日の次第」 ②「犬山市健康まちづくり推進委員会委員名簿」 ③「犬山市健康まちづくり推進委員会規則」 ④「犬山市の健康を取り巻く現状及び犬山市民の健康づくりに関する実体調査」(資料1) ⑤「調査結果の概要」(資料2) ⑥「数値目標一覧」(資料3) ⑦「ヒアリング調査のまとめ」(資料4) ⑧「タウンミーティングの実施報告」(資料5) ⑨「フレイル予防・対策」(資料6) ⑩「事業所認定・表彰」(資料7) ⑪「第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン 21 計画(令和6年度)策定スケジュール【案】」(当日資料) ⑫「市民健康館さら・さくらの湯の現状」(当日資料) <p>不足等ございましたらお申し出ください。</p> <p>本日は、先ほど市長のあいさつにもありました通り、来年度策定する犬山市の健康プランを新しくつくっていくにあたりまして、その基礎となるアンケート調査を今年度実施しました。このアンケート結果につきまして、皆さまに情報を共有させていただき、また、委員の皆さまから来年度策定するプランに資するご意見を頂戴したいという思いでこの会を開かせていただいております。本日はそれぞれのお立場でご意見いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは議事に入ります前に、会長からご挨拶をいただきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。</p>
-----------	--

<p>会長</p>	<p>こんにちは。東京から来たばかりで、本日帰りますが、石田市長のときから犬山の健康づくりの委員会に携わって 10 年以上です。私は福岡の出身で犬山に縁もゆかりもないですが、石田市長のやる気に感激して、会長をさせていただいています。また、私事ですが、今年の秋で 80 歳になります。宮田先生ががんばっておられるので、がんばるつもりです。せっかく新しい「いぬやま健康プラン」をつくるということで、ヒアリング調査、アンケートを実施しましたが、実態調査は分厚いものになっています。本当に素晴らしいものをつくってくださったと思っています。特に市民や団体の声が反映されているものになっていると思います。これを反映した新しい健康プランを私も大変楽しみにしながら、携わっていきたいと思っています。</p> <p>最後に1点、今、国の方では厚生労働省と経済産業省が中心となってやっている「日本健康会議」がありまして、国がお金を出すけれど、主に民間がやってくれと。民間というのは、医師会あるいは経済連が中心となって、その事務局長をやっているということで、2015 年からもうすぐ9年になります。ここでも、主に経産省が職場での健康づくり、厚生労働省が地域での健康づくりをやっています。私自身は地域での健康づくりに関して言うと、職場もそうですが、一番大事なものはボトムアップです。国の役人や国会議員が上から目線で指図するのではなく、今は村がほとんど市になりましたが、全国 1,800 の市町村、住民に一番近い基礎的な自治体であります市がボトムアップで下からいく。特に健康づくりはそういうものであると私は思っていますので、まさに、犬山ここにあり、という目標でやっていく。私も 20 年近く携わってきて、ほんのわずかではありますが、力を及ぼしたと思っています。</p> <p>国の健康づくりでもいくつかの目標を立てていますが、1点だけ言えば、厚生労働省が黙っていても健康になる市町村という言い方をしています。非常に難しいですが、住んでいるだけで健康になるアイデアをなんとか出したい。市町村ごとに違いますが、何とかよいアイデアがないか。例えば、新潟県見附市では、まちの中心部は一切車を入れない。ということは、皆歩いて来るしかない。つまり、歩くことになり、生活していくうえで健康になるようなまちづくりの一つのアイデアとして一時有名になりました。市の中でも人口 370 万人の横浜市から、人口5万を切る市もありますが、各市町、主に市は独自色を出しながら、黙っていても健康になるようなまちづくり、これは行政だけではできませんが、行政の手助けがないとできません。市民の力+行政の力がうまく合わさっていけばできると私は信じています。こういった意味で、今回のヒアリング調査を拝見しますと、非常にうまく市の団体等の市に対する要望、こうした方がよいのではないか等のアイデアが入っています。これをどう実現していくかだと読みながら感じました。是非実現していきたいと思っています。私も元気なうちは東京から通います。素晴らしい絵が描けるようにがんばりたいと思いますので、よろしく願います。</p>
<p>課長</p>	<p>渡辺会長ありがとうございました。</p> <p>今後の議事進行につきましては、規則第4条第2項の規定により会長が議長となりますので、渡辺会長に進行をお願いしたいと存じます。渡辺会長、よろしく願います。</p>

<p>会長</p>	<p>ます。</p> <p>それでははじめに、本日の会議録の署名者について、私から指名ということで、杉浦委員と澤野委員にお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って、協議事項に入りたいと思います。</p> <p>議論を含めて 15:30 を目処に協議事項を議論したいと思いますので、ご協力をお願いします。</p> <p>それでは、協議事項の「みんなで進めるいぬやま健康プラン21」の評価・策定について」を事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【資料1 犬山市の健康を取り巻く現状及び犬山市民の健康づくりに関する実体調査について説明】</p> <p>【資料2 調査結果の概要について説明】</p> <p>【資料3 数値目標一覧について説明】</p> <p>【資料4 ヒアリング調査のまとめについて説明】</p> <p>【資料5 タウンミーティングの実施報告について説明】</p>
<p>会長</p>	<p>ヒアリング調査、実態調査結果は非常によくできていると関心したところです。この調査等にご協力いただいた方も委員の中にいるかと思います。時間をたっぷりとして、ただいまの事務局のご説明に対して、ご意見、ご質問はありますでしょうか。フリートークの時間にしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>非常にたくさんの結果をありがとうございます。気になったところをお話しますと、小中学生の子たちにアンケートをとっていますが、まず、子どもたちが健康についてあまり考えていないということだと思えます。最初にありますが、肥満度とかやせ傾向といった体型を非常に気にされている。だから痩せたいという希望が多い。これは今の時代の流れなのかもしれません。別に普通なのにもっと痩せたいと考えていることが気になるところで、特に女性はやせ願望が強いというのは、将来的に非常に問題あって、低出生体重児に結びついてきますし、これが将来の生活習慣病に結びついてくるといった意見も出ていますので、やせは非常に問題。むしろ女性にとっては肥満よりも問題ではないのかと思います。あと、全体的に言えることは、以前からよく言われていたことで、早寝早起き朝ごはん、運動は基本ですので、そこはしっかりと子どもたちに理解してもらおう。なぜそれが大事なのかを言わないと、早寝早起きすることがよいのはわかっている、朝食を食べるのがよいことだということもわかっているけれど、実際にまだまだ十分な数値が出ていない。それがどういう効果があるのか、どのようなデメリットがあるかというのを少しははっきりさせてあげて、指示した方がよい。統計的にみると、早寝早起きして朝ごはんを食べた方が成績はよくなる。これは実際に統計的に出ています。成績もよくなるし、体型にもよいこと。そういう面で、目標をもつためになぜそういうことが必要かということをはっきりさせた方がよいのかと思う。自分の健康について、病気になったときは考えるでしょうが、実際に具体的にどうし</p>

	<p>たらよいのか頭でわかっている、実行できていないということが多分にあるのではないかと思います。</p> <p>もう1点、気になったのは、こころの健康について、概要のところではあまり出ていませんでしたが、「今の自分が好きか」とか「家族に愛されているか」とか、正直に書いているのでしょうか、「今の自分が好きか」という設問で小学生の16.5%が「あてはまらない」と言っています。これは非常に気になりました。76人の人が自分を好きではない、自己肯定感が低いということです。こうした数値が非常に気になっています。中学生になると29.5%で120人もいます。実際にはっきりと「好きではない」と言われていることに、非常に屈折した思いがあるのかという気がします。「保護者から愛されているか」という質問についても、これは非常に厳しい質問だと思いますが、「愛されていない」と答えている人がいます。これがどの程度なのかはわかりませんが、そういう意味でこころの健康という面ではもう少しサポートしていく必要があるのではないかと。不登校とか虐待、いじめにも結びついてくるのではと思います。もう少しこころの健康について、教育も含めて対策を練っていった方がよいと思います。非常に膨大なデータですので、まだまだ検討する必要はあるかとは思いますが、そのように感じました。</p>
会長	設問の仕方に工夫が必要だということですか。
委員	そうですね。もう少し健康に対して意識をもつような設問がよかったかと思います。
会長	子どもたちに響くようなということですね。
委員	そうですね。なんとなく抽象的なことしか出てこない気がしますので、具体的に進めていくうえでは、何か方策があったのかとは思いますが。アンケートとしては非常に貴重なデータだとは思っています。
会長	事務局もよろしいですね。非常に参考になるご意見だと思います。ありがとうございます。
委員	中学校で養護教諭をしております。今、委員がおっしゃったことは本当にその通りでして、特に、自分が今中学校に勤務しておりますので、生徒のこころの健康に関しては今一番の重要課題だと思います。今回の膨大な調査の中で瘦せたい願望があったり、スマートフォンの関係のこととか、そういったこと、朝食のこともですが、正論で言えば、大切さについて伝えていくことはもちろん大切なことだとは思いますが、いくら正論を聞かされても、そのように行動できない状態にあるということが問題だと思います。本校も不登校が増えているところですが、本当に傷つくのをすごく恐れていて、今日の新聞でも不登校について、子どもの思いと学校の思いで格差があるという記事が出ていましたが、当然ですが、やはり親御さんも小さいときから子どもを傷つけ

	<p>ないように大事に育ててみえる。それは当たり前のことだと思うのですが、子どもたちがちょっと傷つくことに対して、耐性がなくなってきたのかということも感じています。そういったところで、学校という集団生活の場で、切磋琢磨しながら成長していくわけですが、傷つく場というのは学校だけではなく、例えば、家庭でスマートフォンを使っている。スマートフォンの世界の中でもゲームをやりながら、相手とケンカをしたとか、子どもたちの世界が学校生活、純粋な家庭の生活だけではなく、さらにもう一つ、SNSの世界があるということもあって、子どもたちがいろいろなところに気を遣って、いろいろな刺激を受けながら生活しているという状況があります。そういった中で、今この資料をみてもいろいろな課題が出ていますが、どこからどのように手を付けていけばよいのかということ、本当に今後、学校も考えていかないといけない。今も考えながらやっていますが、そのような状況にあると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ものすごい資料でよくまとめられたなと感心しております。読みましたが、ものすごく多様な意見があって、どのように市として取り組まれていかれるのか。両極端な意見もあり、どのようにおまとめになるのかと思います。私でしたら、これは降参したい。特に自由意見はものすごく幅が広く、どうしていくのか。私なら、例えばものすごくよいことをやっている先進市の事例をいっぱい集める。それと、近隣市町で特に喜ばれていることを集める。全国的な先進事例と近隣市町のすばらしいこと。この中でできることはなんだろうかということ、絞った方がよい。なかなかこれだけの量があるみたいへんです。今申し上げたように、絞ってやらないといけない。公園をつくれとか、公園はいらないとか、中央病院は古いから新しくしろとか、とんでもない意見がものすごくありますので、市議会議員の方たちはどうされるのかなと思います。繰り返になりますが、先進事例や近隣市町のよいことを一所懸命調査して、これはできるのではないかとしっかりと勉強するのがよいのかと考えます。私ども犬山社協の問題は、やはり高齢者がすごく増えていまして、その方たちをいかに外へ連れ出すか。そして、いかに犬山市の社協がコーディネートをしていくのか。そういうことが大きな課題と考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>今おっしゃられた通りで、先進事例については、国も集めています。私自身も関わっていますので、あれば犬山に打ち返します。</p>
<p>委員</p>	<p>私も先ほどから意見が出ていますように、全般的に子どもたちの健康が非常に心配だと思っております。今回、スマートフォンについての調査がされましたが、非常に意義があったと思います。先ほど委員からお話がありましたように、こころの健康だとか朝ごはんを食べられない子がいるとか。「時間がないから食べられない」と言いますが、やはり早く起きられないのかな、と思う。あとは、夜 SNS をずっと見ていると、寝入りが悪くなる。SNS との付き合い方。各学校でも何時間くらいにしましょうね、といろいろな約束事を決めているとは思いますが、これからさらに子どもたちと一緒に使って使い方等を考えていかないといけないと感じました。</p>

	<p>それから、こころの健康については、やはり多くの子たちがストレスを感じているということで、子ども未来課でやったヤングケアラーについての調査結果をみますと、寝る時間がないとか、多くの困難を抱えている子がいるというところで、まず私が必要だと思うのは、子どもたちの声をよく聞く、お父さんやお母さんが忙しくて、親子でもなかなか会話がなくなることがあるかもしれませんので、まずは子どもたちの気持ちをよく聞くことが大事かと思います。</p> <p>それから、15歳以上の方についても、これまで犬健チャレンジとかいろいろなことに取り組んできましたが、健康診断の受診率が下がっているというのは非常に残念だと思います。やはり大人も朝ごはんを食べなかったり、基本的な生活習慣がなかなか実行されないいろいろなことがあるかと思いますが、そういった課題について、皆さんと知恵を出し合って対策を考えていく必要があるかと思います。</p>
委員	<p>実際に今中2の息子がいます。まさに当事者の問題で、大変困っているのですが、1日中スマホをやっています。それからゲーム。ネットで会話ができるので、友だちとの関係はよいですが、学校にいなくても、友だちと永遠と会話をしています。なんとかメリハリをつけられないかということ。睡眠時間も短くなっていますし、非常に遅くまでやっています。スマホあれば本当に1日中やっています。しかし、連絡手段やGPS、いろいろな機能もありますので、取り上げてしまうのは難しいけれど、食事中はさすがにやらないようにするとか。それでもやろうとしますが、無理矢理取り上げると反発しますし、中学生は非常に難しい時期です。非常に困ってはいます。最近のアメリカの話題ですと、年齢問わず朝方のスタイルに見直されています。それは頭の活性化を含めて非常にメリットがあります。生活スタイルの見直しがされてきているので、私もアンケートで意見したのですが、家族ですから親も含めて家庭の中で朝方スタイルに切り替えていくとか。もちろん話し合いも大事ですが、そのようなスタイルで、家族ぐるみで取組をしていかないと、子どもだけで直すのは難しと思います。それも含めた方策が必要だと思いました。</p>
会長	<p>調査の概要について、歩数についての記載があります。1日1万歩、とは書いていませんが、それが前提になっているのかという気がしないでもない。私が東京でお医者さんに聞いたら、私のように70歳を過ぎたら5,000歩で十分だという話もあります。ですから、年齢によっても違う。1日1万歩と言いますが、そんなに歩く必要はないという説もあります。別に低く設定しろと言うつもりはありませんが、1万歩が大前提になっている気がしないでもないなので、年齢的にも、このあたりが望ましいということを書く。あまり少ないと市民のやる気がなくなってしまう。1日1万歩はとても無理で、1日8,000歩歩いてもまだ2,000歩足りない、とやる気がなくなってしまうケースが私もあります。少し考えていただきたいと思いました。</p>
委員	<p>本当に多岐にわたりアンケートをまとめていただきありがとうございます、原市長のごあいさつにもありましたが、犬山の高齢化率は県の平均よりも高い中、認定率に関</p>

委員	<p>しては県平均よりも少し低いということで、それは元気な高齢者が多いということかと思えます。犬山の特長といいますか、高齢になっても元気で生活していける方を増やしていきたいということがあると思えます。そういった意味では、アンケートの中で、フレイルに関しての周知度が少ないと思いましたので、なんとかやっていただきたい。あと、BMI の数値が出ていますが、これはメタボの判定基準と言われていましたが、フレイル予防に関してはサルコペニアやロコモティブシンドロームなど筋肉の量が問題になってきています。BMI では推し量れないと言われてきていますので、そういったことを、元気な高齢者を増やすということで、フレイル対策の周知を含めてやっていただきたいと思えます。</p> <p>60 歳以上の健診の受診率が高くないということが気になって、やはりこれから高齢者が増えていく中で、そうした年代の人たちが健康な老後を過ごすにあたり、受診率を上げていくことが重要な課題になるのかと思えます。今、6月～12 月が健診期間ですが、例えば、健診期間を延ばして、受診の機会を増やすこともあると思えます。あとは、父の日や母の日、敬老の日に子どもや孫にあたる世代が学校でお手紙を書いて渡したり。ぜひそうしたことにも取り組んでいただけるとよいと思えます。また、自由意見にあります、子宮頸がんや乳がんは毎年受けられない。僕は乳がん、子宮頸がんには携わっていませんが、胃がん検診でも去年やってよかった人も今年検査して早期で見つかることはいくらでもありますので、やはりせつかく検診を受けられるのであれば、市民の方が毎年コンスタントに受けられる環境をつくってほしいです。今年も、毎年来てくださる方は早期でみつかりますが、食べれないからと検査にみえる人は転移していることがあります。元気なときにこそ健康チェックをすることを PR する。例えば、広報などに「私は早くがんが見つかりました」といった体験談を掲載したりするとよいと思えます。</p>
委員	<p>第1回のアンケートの検討のときもいましたが、回収率が 40%程度ですので、毎回このくらいだと思いました。内容につきましては、高齢者の方が運動習慣があるとか、若年の男性の欠食率が高いとかは他の地域でも同じような傾向だと思えます。それは、全国どこでも共通の課題だと思えます。それから、今回の第3次の計画で性差に注目しているのは、大きな目玉になると思うのですが、今回の報告にはないので、もう少し性差のところが浮き彫りになるような分析ができればよいと思えます。性差というのは具体的には女性の健康づくりです。今、非常に注目されているところですので、そこにも着目した方がよいと思えます。あと、解析の仕方が特殊になるのですが、一つひとつの項目ですと、それぞれの集計結果が出ますが、市民全体の姿ではないにしても、食生活も悪く、運動習慣もない集団とちゃんとやっている集団の特徴的なグループがいくつかあるのではないかと思います。これは解析が難しいので、特殊な方法を使わないと明らかになりませんが、私はそういうところを見て分析すると、もう少しメリハリのある対応ができるのではないかと思います。もちろん、市民の皆さんの共通項目としての解析をする必要はありますが、解析の仕方について、また後でよ</p>

委員	<p>いのでご相談させていただきたいと思います。</p> <p>渡辺先生が言われたように、ウォーキングをする場合でも、いろいろな方がいらっしゃる。本当にどれがよいとは言えません。私どもが今やっている活動の中で、行き 30 分、帰り 30 分で、自分たちが出発するときに、血圧を計っていただき、帰ってきたときに再度血圧を計っていただく形をとっています。そうしますと、30 分歩くとこれだけ血圧が下がるんだね、と本人にわかってもらえる。はじめの方は皆さん参加される方は1万歩歩いている方もいらっしゃいますが、そうではなく、毎日の生活の中で運動したときに、どのくらい自分にプラスになるのか本人が知らないといけなから、私たちは月に5～6回くらい運動の活動をしています。月に1回はウォーキングを犬山市全体をまわってやっています。大体 30 分歩くと歩数でいうと 2,000～3,000 歩です。そのような形でやっています。本人に実感させるような、広報等で啓発していかないと、浸透しないのかと思います。社会福祉協議会にもボランティアさんがいると思いますが、そういう方たちが高齢になってくると、教えるというよりも、自分がどのようになれば健康でいられるかということ、私たちはしてあげたいと考えています。</p>
会長	<p>今日欠席の方からも、意見が出たと聞いていますが、もしあれば手短かにお願いします。</p>
事務局	<p>欠席の委員から特に意見はございませんでした。</p>
委員	<p>皆さん今日はいろいろとご意見を出していただきありがとうございます。アンケート調査で犬山市民の実態、市民は今何を悩んでいるのか、どうしてほしいのか。現在の自分ありかたを、市民の縮図のようなアンケートになっているのではないかと思います。アンケートづくりに関わった一人として、今日そのように感じました。行政の方と何回も打ち合わせをさせていただいて、このアンケートを実施し、今日協議していただいているのですが、これだけのご意見がでるのは非常にうれしいと思っています。今日皆さんから個別の話が出ましたが、この後、市民の生の声を我々のような専門家の人間や行政の皆さんがどう分析して、どう市民の皆さんに対応していくかをいよいよ具体化していかなければいけません。これは非常に大事だと思います。いろいろな意見がありますので、さらに今日の話を受けて、ご意見がありましたら健康推進課に出していただきたいと思います。あとは、先ほどお話がありましたように、全部一気にではできませんので、優先順位を決めまして、一つひとつ進めさせていただきたいと思います。最終的には、いつも申し上げますが、犬山の市長、組長さんも決断していただくことをお願いして、進めていくつもりです。</p>
会長	<p>本当にすばらしい調査だと思いますし、今日皆さんから忌憚のないご意見をたくさんいただいたこともたいへん素晴らしいことだと思います。今、宮田副会長からあった</p>

	<p>ように、市民から出た意見を全部取り入れるのはたいへんですが、これを新しいプラン落とし込んでいくわけです。それについてご説明をしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>【当日資料 第3次 みんなで進めるいぬやま健康プラン 21 計画(令和6年度)策定スケジュール(案)について説明】</p>
会長	<p>これで議題は終わりましたので、報告事項についての説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料6 フレイル予防・対策について説明】 【資料7 事業所認定・表彰について説明】</p>
会長	<p>ありがとうございます。今ご報告があったように、事業所認定・表彰について、犬山商工会議所の専務理事の奥村委員がここにいらっしゃいますので、一言お願いします。</p>
委員	<p>大したことはやっていませんが、健康経営優良法人を浸透させるのが日本商工会議所です。その配下にあるのが、私ども商工会議所です。ですから、健康優良法人を増やそうとしてます。犬山市内にも 10 以下しかありません。ということから、私どもが実証することが、いろいろな企業さんに浸透させるという意味では重要なところにいるかと思っています。ありがたく思っています。来年度、令和6年度の商工会議所の事業計画で、健康推進について、事業所に対して取り組もうということで、これまでもやっていますが、さらにプラスαしていきたい。また、アンケートの結果にもありましたが、60 歳以上の方がなかなかできていない。健康診断にも力を入れてもらうということで、そうしたことも周知しながら今後も取り組んでいきたいと思っています。今回の受賞につきましては、ありがとうございました。</p>
会長	<p>それでは、事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>その他としまして、事務局から皆さまにお知らせしたいことがございますので、もう少々だけお時間を頂戴したいと思います。</p> <p>【当日資料2 市民健康館さら・さくらの湯の現状について説明】</p> <p>その他の報告としましては以上となります。それでは、これもちまして、本日の議事に関しては全て終わりました。渡辺会長、取り返しありがとうございました。委員の皆さまも多様な意見をいただき誠にありがとうございました。来年度は計画をつくっていく具体的な年になります。皆さまからいただいた意見をもとに、事業や計画づくりを進めていきたいと思っています。これもちまして、健康まちづくり推進委員会を終了いたします。ありがとうございました。</p>